

各 位

平成16年8月24日

会 社 名 長野日本無線株式会社

代 表 者 代表取締役社長 田中 章博

インバータ内蔵型看板用蛍光灯ホルダー（40Wタイプ）新発売

特許出願中

長野日本無線（株）は、改正省エネ法（エネルギー使用の合理化に関する法律）に対応した省エネでエコロジーな「インバータ内蔵型看板用蛍光灯ホルダー（40Wタイプ）」の販売を開始致します。

地球環境の保護に向け、2005年より省エネルギー法の規制が強化され、街中に設置・点灯されている看板用蛍光灯器具に関しても、エネルギー消費効率改善基準をクリアすることが必要となります。（2005年度において1997年度比約16.6%の効率改善）

当社は、従来からパソコン等の液晶画面に使用するバックライト用インバータの開発・販売を手がけ技術を蓄積してまいりましたが、この技術力を如何なく発揮する事により、改正省エネ法に適合した製品をいち早く市場投入することが可能となりました。

今回の製品は、従来の銅鉄安定器タイプと比べ、ランニングコスト（消費電力）を約38%削減しており、さらに力率改善を図ったことにより、同じ電気容量で約3倍の蛍光灯設置が可能となります。

また、汎用性を高める一方で、価格については現在市販されている銅鉄高力率タイプの安定器を使用したホルダーと、1灯換算でほぼ同等としました。

尚、本製品は、「第46回サイン&ディスプレイショウ（9月2日～4日、東京ビックサイト）」に出展いたします。

概 要

- ・商 品 名 : インバータ内蔵型看板用蛍光灯ホルダー
- ・型 名 : NJD8123
- ・発売開始 : 2004年10月20日
- ・希望小売価格 : 8,800円（税抜き）
- ・販売目標 : 150,000本/月

主な特長

1. 省エネ38%を実現

従来の銅鉄安定器品に比べ、消費電力を約38%削減しました。

- ・消費電力 従来品 40W×2灯=98W
NJD8123 40W×2灯=61W （電圧100V 蛍光管FL40SSで比較）

2. 約3倍の蛍光灯が設置可能

消費電力の削減と力率改善により、同じ電気容量で約3倍の蛍光灯の設置が可能

- ・10.5Aの設置環境（15A回路で70%使用）で従来品の低力率安定器タイプですと11灯、NJD8123ですと34灯の設置が可能になります。（100V/FL40S×2灯使用時）

3. 高い汎用性を実現

汎用性を追及することで、通常、用途別に 36 種類以上用意されているホルダーを 1 機種に集約し、屋内外のほぼ全ての看板に簡単に取付を可能としました。これによりイニシャルコストの軽減と、施工業者の在庫圧縮および取付施工性の改善が可能となります。

- ・並列点灯方式採用により、2 灯でも 1 灯でも使用が可能
- ・2 段階アジャスト方式により、250mm 間隔と 100mm 間隔での蛍光灯取付が可能
- ・マルチ取付金具開発を用意し、釣下げ取り付け、横付け取り付け等、あらゆる取付方式に対応(オプション)
- ・電圧フリー、サイクルフリー、ランプフリーを実現

4. リサイクル可能な環境対策と軽量化を実現

本体材質にアルミを使用する事により、資源のリサイクル推進を可能にするとともに、重量については約 1kg と従来品の 1/3 の軽量化を実現しました。また、グリーン購入法適合蛍光灯ランプ (FHF32) が使用できる為、蛍光灯廃棄に伴う水銀廃棄量を 1/5 に減らす事が出来ます。グリーン購入法に適合した商品です。

インバータ内蔵型看板用蛍光灯ホルダー：NJD 8 1 2 3 概略仕様

品番	NJD8123		
	40W × 1 灯使用		40W × 2 灯使用
定格入力電圧	AC100V ± 10% / AC200V ± 10%		
定格周波数	50Hz / 60Hz		
定格入力電流	100V	0.31A	0.61A
	200V	0.165A	0.3A
定格入力電力	100V	31W	61W
	200V	31W	60W
力率	高力率		
点灯方式	並列型高周波点灯 (1 灯でも 2 灯でも使用可)		
定格二次電圧	120V		120V
定格二次電流	230mA		230mA
使用区分	器具内		
使用周囲温度	-10 ~ +55		
使用周囲湿度	25% ~ 85%RH		
高調波抑制対策	ガイドラインクラス C 準拠		
保護機能	過電圧保護・過熱保護		
適合ランプ	1 灯の場合		2 灯の場合
	FHF32 × 1		FHF32 × 2
	FLR40S × 1		FLR40S × 2
	FL40SS × 1		FL40SS × 2

市場規模と省エネ効果

看板用蛍光灯ホルダーの市場は、国内の民需向け年間出荷本数で約 480 万本であり、官公庁・各種公財団需要等を加えると約 2 倍程度になるものと推察されます。

更に、看板耐久年数を 5 年とすると、市場に点灯している看板用蛍光灯本数は、約 4,800 万本と推察されます。仮に市場全体が NJD8123 にリプレスされた場合、節減できる消費電力は玄海原子力発電所 1 号機 55 万 9 千 kw/h にほぼ匹敵する規模の値となります。

また、日本フランチャイズチェーン協会登録のコンビニエンス-ストア 13 社を例にしますと、総店舗数 38,000 店舗、看板に使用している蛍光灯本数 40 本 / 店舗、10 時間点灯 / 日、電気料金 23 円 / 1kwh と推察されます。これらを NJD8123 にリプレスした場合、節約できる電気使用料 1,500 円 / 1 本 (年間) 経費削減金額は 22.8 億円 (年間) となります。

外観

250mm 間隔 2 灯並列



100mm 間隔 2 灯並列



1 灯直付



【お問い合わせ先】

長野日本無線株式会社

MB 営業部 機器営業グループ

TEL 03-5360-4558

FAX 03-5360-4550

総務広報部

TEL 026-285-1205

FAX 026-285-1030